

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、午前9時から浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。
検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモトイが最高で1,300cells/ml、シャットネラ属が最高で76cells/ml確認されました。

カレニア・ミキモトイは目ノクソ、シャットネラ属は鳴無及び中学前で漁業被害が想定される密度を超えていました。
また、湾奥から湾奥にかけて中層が貧酸素状態となっていました。

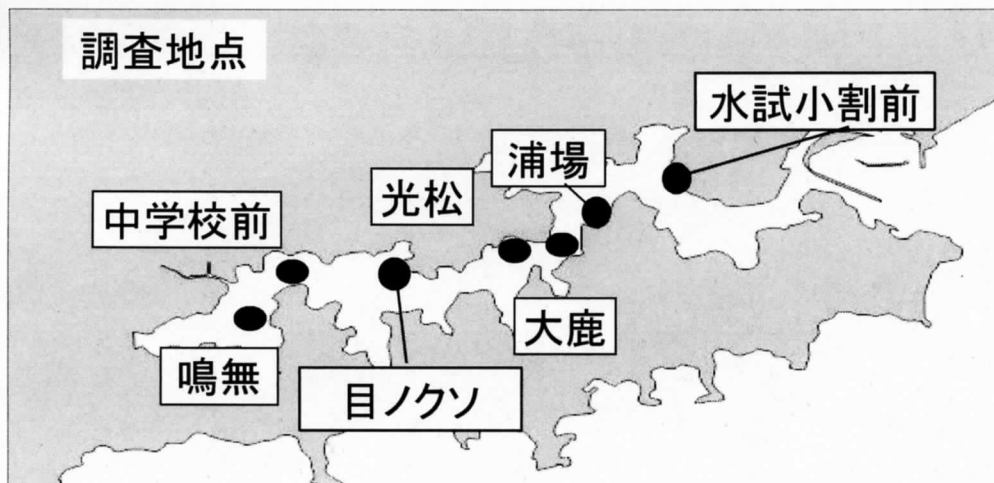
海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン (cells/ml)

		カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属	溶存酸素 (mg/l)
鳴無	2m	16	20	0.74
中学前	2m	600	76	0.93
目ノクソ	2m	1300	3	1.37
光松	2m	120	0	2.80
大鹿	2m	550	8	3.16
浦場	2m	275	2	4.83
水試小割前	2m	0	0	5.27

漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ：
数百～数千cells/ml（魚類等のへい死）
- ・シャットネラ属：
10～100cells/ml（魚類へい死）



「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>